

平成29年度 しが生物多様性大賞 受賞活動

1. 活動の名称

Biwako Sweet Project ～花を贈ろう！ マザーレイクに感謝を込めて～

2. 活動の概要

目的・目標	お客様にご購入いただいた代金の一部を琵琶湖環境保全を目的に寄付。 愛と感謝の贈り物を大好きなお母さんへ！そして私たちの母なる湖、琵琶湖へと・・・。
活動エリア	フォレオ大津一里山 ・ イオンモール草津 ・ オンラインショップなど
活動時期	通年（母の日期間は2017年4月25日～5月14日）

3. 取組内容

「マザーレイクフォーラムびわこミ会議」への参加をきっかけに、事業活動を通じて琵琶湖の環境保全に貢献できないかと考えました。 マザーレイクフォーラム運営委員会皆さまの助言やご協力のもと、以下の活動を行っています。

①びわ湖のヨシや地産地消の花を使った 母の日フラワーギフトの制作販売

合言葉は「母の日はマザーレイクにありがとう！（Thanks! Mother Lake!）」

②びわ湖の水草堆肥を使った栽培キットの制作販売と、店頭で水草堆肥 無料配布の協力

③子どもの感性を育てる「花育」として母の日フラワーアレンジのワークショップを実施

メッセージカードには、滋賀県産「木の端材」を使用

④収益の一部をマザーレイクフォーラム運営委員会に寄付し、環境に配慮した商品の販売が環境保全に活用される循環を支援



4. 今後の課題・将来像等

びわ湖のヨシは魚類や鳥類の生息場所を提供する等、びわ湖の生物多様性保全に欠かせない機能を有していますが、その維持管理の為に刈り取られたヨシの利活用は必ずしも進んでいません。

近年は水草(沈水植物)の大量繁茂が多様な生物の生息環境の面でも問題となっており、刈り取り事業も実施されて堆肥化されていますが、その堆肥の利活用にも課題があります。

びわ湖の水源の森も、安価な外材の流通や担い手不足などの問題により、間伐や木材利用が十分進んでいません。

私たちは滋賀県で花卉を販売する事業者として、それらの利活用を進めるとともに、これらの問題を広く県民、市民に知っていただきたいと考えています。

また寄付を行っているマザーレイクフォーラムでも、びわコミ会議などで、生物多様性保全を含む様々なテーマについて話し合う場づくりを行っており、生物多様性保全への貢献が期待されます。

これらの事業や活動を通じて、中小企業や個人事業主、しかも環境とは一見関係のなさそうな企業でも生物多様性に貢献できるということを、県内の事業者の皆様にも知ってもらえたらと思っています。



④ 寄付金授与式

5. 連絡先等

フラワープロデュース 一花 (いちか)

〒520-2153 滋賀県大津市一里山7丁目1-1 フォレオ1F中央入口

TEL 077-572-8741 FAX 077-572-8751

URL www.ichica-flower.com



